

正誤表

2020年12月3日

有斐閣

『日本政治史——現代日本を形作るもの』初版第1刷（2020年1月刊）において、下記のページに誤りがございました。お詫びして、訂正いたします。

◆第1章

○17頁，下から4行目

4月には江戸に迫った。11日，江戸城は無血開城し，～～

→3月には江戸に迫った。翌月11日，江戸城は無血開城し～～

◆第2章

○25頁，上から11行目

明治3年7月14日 → 明治4年7月14日

◆第5章

○88頁，下から2行目

重ね~~っ~~ていった → 重ねていった

◆第6章

○109頁，上から5行目

東京都知事 → 東京府知事

○110頁，上から16行目

～～，1907年7月，第1次西園寺内閣は総辞職することとなった。

→ ～～，1908年7月，第1次西園寺内閣は総辞職することとなった。

○111頁，下から15行目

その結果，1908年1月，～～ → その結果，1911年1月，～～

○113頁，上から4行目

～～，日清戦後経営における～～ → 日露戦後経営における

○114頁，上から6行目

～～，市議は等級選挙による市議の4年ごととなった。

→

～～，市議は等級選挙による**3年ごとの半数改選から4年ごとの全面改選**となった。

○118頁，上から3行目

千葉功『旧外交の形成——桂太郎の政治指導と政党内閣の確立過程』勁草書房，2008年。

→

千葉功『旧外交の形成——**日本外交 一九〇〇～一九一九**』勁草書房，2008年。

◆第7章

○134頁，上から14行目

戦線回復が過大 → 戦線回復が**課題**

○136頁，下から16行目

先に対華二十一カ条要求の内容を評価した吉野作造は，1916年に～～

→吉野作造は，～～

(「先に対華二十一カ条要求の内容を評価した」を削除)

◆第8章

○162頁 引用・参考文献

麻田雅文 2016「シベリア出兵——近代日本の忘れられた七年戦争」中公新書。

→ 麻田雅文 2016『**シベリア出兵——近代日本の忘れられた七年戦争**』中公新書。

(「 」を『 』に)

◆第9章

○175頁，下から8行目

南満州東部と内蒙古 → 南満州と**東部**内蒙古

(「と」の位置を修正)

○178頁，上から24行

条約は，政府が調印したのちに議会在批准しなければ発効しない。

→ 条約は政府が調印したのちに**枢密院**が批准しなければ発効しない。

○179頁，上から9行目

末次 → 末次**信正** (「信正」を挿入)

◆第11章

○212 頁，上から 2 行目

宣戦布告も一時検討されたが，アメリカの中立法の適用を嫌い，同様の理由から中国も宣戦布告しなかったため，事変という名の全面戦争が続いた。

→宣戦布告も一時検討されたが，**不戦条約に抵触する懸念があった。また**，アメリカの中立法の適用を嫌い，同様の理由から中国も宣戦布告しなかったため，事変という名の全面戦争が続いた。

○218 頁，下から 3 行目（最後の文章）

陸軍は議会解散に反対して内閣総辞職を選んだ吉田善吾海相も同様である中で

→

陸軍は議会解散に反対して内閣総辞職を選んだ。**吉田善吾海相も同様である中で**
（「。」を挿入）

◆第12章

○232 頁，下から 12 行目

推薦候補は 480 人中 381 人が当選した。

→ 推薦候補は **466** 人中 381 人が当選した。

◆第13章

○278 頁，上から 12 行目

新婦人協会は治安警察法第 5 条撤廃運動を行い，～～

→ 新婦人協会は治安警察法第 5 条**改正**運動を行い，～～